

令和2年度(第49期)決算

令和2年度(第49期)の資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

○資金収支計算書

■資金収支計算書総括表(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	2年度予算	2年度決算	予算との差異	元年度決算	前年度決算との差異
科目	(1)	(2)	(1)-(2)	(3)	(2)-(3)
1 学生生徒等納付金収入	3,514,330	3,448,955	65,375	3,354,585	94,370
2 手数料収入	28,846	28,363	483	32,303	△3,940
3 寄付金収入	94,200	65,921	28,279	82,524	△16,603
4 補助金収入	451,000	478,498	△27,498	451,132	27,366
5 資産売却収入	1,600,000	1,952,690	△352,690	919,365	1,033,325
6 付随事業・収益事業収入	469,400	500,914	△31,514	510,373	△9,459
7 医療収入	2,007,000	1,833,901	173,099	2,013,107	△179,206
8 受取利息・配当金収入	601,980	591,839	10,141	632,595	△40,756
9 雑収入	202,120	277,939	△75,819	191,277	86,662
10 借入金等収入	0	0	0	3,400,000	△3,400,000
11 前受金収入	450,200	446,363	3,837	518,713	△72,350
12 その他の収入	5,375,945	4,372,549	1,003,396	3,242,161	1,130,388
13 資金収支調整勘定	△880,000	△1,081,654	201,654	△1,014,098	△67,556
[A]前年度収入合計	(13,915,021)	(12,916,278)	(998,743)	(14,334,037)	(△4,417,759)
[B]前年度繰越支払資金	613,304	773,590	1,334,720	1,334,720	0
収入の部合計	14,528,325	13,689,868	838,457	15,668,757	△1,978,889
支出の部					
1 人件費支出	4,532,415	4,441,026	91,389	4,365,378	73,648
2 教育研究経費支出	2,214,323	2,738,149	△523,826	1,656,440	1,081,709
3 管理経費支出	425,420	438,903	△13,483	361,143	77,760
4 借入金等返済支出	22,840	20,087	2,753	12,025	8,062
5 借入金等返済支出	340,800	340,020	780	0	340,020
6 施設関係支出	1,147,416	782,489	364,927	3,833,751	△3,051,262
7 設備関係支出	2,275,148	1,831,690	643,458	1,437,945	837,745
8 資産運用支出	2,935,646	1,852,400	1,083,246	4,501,953	△2,649,553
9 その他の支出	389,200	507,406	△118,206	435,827	71,579
10 [予備費]	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
11 資金支出調整勘定	300,000	300,000	0	0	△2,533
[C]当年度支出合計	(14,042,508)	(12,284,542)	(1,757,966)	(14,895,167)	(△2,610,625)
[D]前年度繰越支払資金	485,817	1,405,326	△919,509	773,590	631,736
支出の部合計	14,528,325	13,689,868	838,457	15,668,757	△1,978,889

■主な内容は次のとおりです。

収入の部	決算額	内容
1 学生生徒等納付金収入	34億4,900万円	歯科大学は25億8,800万円、看護大学は6億7,800万円、短期大学は1億8,300万円となり、歯科大学及び短期大学は入学定員未充足等による在籍学生数の減により5,300万円の減、看護大学(開学4年目)は学年進行による在籍学生数の増により1億4,700万円の増となり、前年度比9,400万円増の34億4,900万円となりました。
4 補助金収入	4億7,800万円	経常費補助金2億9,400万円、授業料等減免費補助金6,000万円、耐震対策緊急促進事業補助金2,800万円など、前年度比2,700万円増の4億7,800万円となりました。
7 医療収入	18億3,400万円	病院医療収入は16億2,600万円、口腔医療センター医療収入は2億800万円となり、病院の歯科収入及び口腔医療センターの収入減により、前年度比1億7,900万円減の18億3,400万円となりました。
支出の部	決算額	内容
2 教育研究経費支出	27億3,800万円	旧病院解体撤去費2億8,600万円、病院家具器具等購入費4億9,300万円、電子カルテデータ等移行費9,300万円及び病院医療機器等移設費4,600万円など、前年度比10億8,200万円増の27億3,800万円となりました。
6 施設関係支出	7億2,800万円	病院建設工事費7億4,000万円など、前年度比30億5,100万円減の7億2,800万円となりました。
7 設備関係支出	16億3,200万円	病院医療機器等購入費11億9,900万円、病院医療情報システム3億7,700万円など、前年度比14億3,800万円増の16億3,200万円となりました。

○財産目録

■財産目録総括表(令和3年3月31日現在) (単位:円)

資産の部	金額
I. 基本財産	21,067,819,831
固定資産	21,067,819,831
(1)有形固定資産	20,675,252,287
(2)その他の固定資産	392,567,544
II. 運用財産	45,826,942,419
1. 固定資産	43,786,705,816
(1)有形固定資産	25,283,346
(2)特定資産	42,775,875,500
(3)その他の固定資産	985,546,970
2. 流動資産	2,040,236,603
資産の部合計	66,894,762,250
負債の部	金額
I. 固定負債	6,783,802,355
長期借入金	5,344,960,000
退職給付引当金	1,438,342,355
長期預り金	500,000
II. 流動負債	1,742,173,315
短期借入金	715,020,000
未払金	434,285,955
前受金	446,363,000
預り金	146,504,360
負債の部合計	8,525,975,670
差引正味財産	58,368,786,580
負債の部合計及び差引正味財産合計	66,894,762,250

○事業活動収支計算書

■事業活動収支計算書総括表(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで) (単位:千円)

科目	2年度予算	2年度決算	予算との差異	元年度決算	前年度決算との差異
(1)	(2)	(1)-(2)	(3)	(2)-(3)	
1 学生生徒等納付金	3,514,330	3,448,955	65,375	3,354,585	94,370
2 手数料	28,846	28,363	483	32,303	△3,940
3 寄付金	94,200	65,921	28,279	82,524	△16,603
4 経費等補助金	451,000	478,498	△27,498	451,132	27,366
5 付随事業収入	469,400	500,914	△31,514	510,373	△9,459
6 医療収入	2,007,000	1,833,901	173,099	2,013,107	△179,206
7 雑収入	202,120	277,939	△75,819	191,277	86,662
8 借入金等	0	0	0	3,400,000	△3,400,000
9 前受金	450,200	446,363	3,837	518,713	△72,350
10 その他の収入	5,375,945	4,372,549	1,003,396	3,242,161	1,130,388
11 資金収支調整勘定	△880,000	△1,081,654	201,654	△1,014,098	△67,556
[A]前年度収入合計	(13,915,021)	(12,916,278)	(998,743)	(14,334,037)	(△4,417,759)
[B]前年度繰越支払資金	613,304	773,590	1,334,720	1,334,720	0
収入の部合計	14,528,325	13,689,868	838,457	15,668,757	△1,978,889
支出の部					
1 人件費	4,532,415	4,441,026	91,389	4,365,378	73,648
2 教育研究経費	2,214,323	2,738,149	△523,826	1,656,440	1,081,709
3 管理経費	425,420	438,903	△13,483	361,143	77,760
4 借入金等返済	22,840	20,087	2,753	12,025	8,062
5 借入金等返済	340,800	340,020	780	0	340,020
6 施設関係	1,147,416	782,489	364,927	3,833,751	△3,051,262
7 設備関係	2,275,148	1,831,690	643,458	1,437,945	837,745
8 資産運用	2,935,646	1,852,400	1,083,246	4,501,953	△2,649,553
9 その他の支出	389,200	507,406	△118,206	435,827	71,579
10 [予備費]	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
11 資金支出調整勘定	300,000	300,000	0	0	△2,533
[C]当年度支出合計	(14,042,508)	(12,284,542)	(1,757,966)	(14,895,167)	(△2,610,625)
[D]前年度繰越支払資金	485,817	1,405,326	△919,509	773,590	631,736
支出の部合計	14,528,325	13,689,868	838,457	15,668,757	△1,978,889

■活動区分ごとの収支は次のとおりです。

【教育活動収支】	【教育活動外収支】	【経常収支差額】	【特別収支】
<p>定期的な収支のうち、学校法人の本業である教育研究事業の収支状況を表す。</p> <p>収入は66億3,700万円、支出は84億5,500万円となり、収支差額は18億1,800万円の支出超過となりました。</p>	<p>定期的な収支のうち、財務活動と収益事業による収支状況を表す。</p> <p>収入は5億9,200万円、支出は2,000万円となり、収支差額は5億7,200万円の収入超過となりました。</p>	<p>定期的な事業活動による収支バランスを表す。</p> <p>教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合計した経常収支差額は12億4,600万円の支出超過となりました。</p>	<p>一時的に発生した臨時的な事業活動による収支状況を表す。</p> <p>収入は5,200万円、支出は4億3,800万円となり、収支差額は3億8,600万円の支出超過となりました。</p>

○貸借対照表

■貸借対照表総括表(令和3年3月31日現在) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	64,854,525	67,650,288	△2,795,763
有形固定資産	20,700,536	19,840,369	860,167
特定資産	42,775,875	44,815,944	△2,040,069
その他の固定資産	1,378,114	2,993,975	△1,615,861
流動資産	2,040,237	1,310,793	729,444
資産の部合計[A]	66,894,762	68,961,081	△2,066,319
負債の部			
固定負債	6,783,802	7,505,384	△721,582
流動負債	1,742,173	1,454,574	287,599
負債の部合計[B]	8,525,975	8,959,958	△433,983
純資産の部			
基本金	58,171,191	61,211,368	△3,040,177
第1号基本金	26,058,815	27,058,924	△1,000,109
第2号基本金	8,000,000	10,054,299	△2,054,299
第3号基本金	23,598,376	23,584,145	14,231
第4号基本金	514,000	514,000	0
繰越収支差額	197,596	△1,210,245	1,407,841
純資産の部合計[C]	58,368,787	60,001,123	△1,632,336
負債及び純資産の部合計	66,894,762	68,961,081	△2,066,319

■前年度末との主な増減は次のとおりです。

【資産の部】	【負債の部】	【純資産の部】
・病院建設工事の支払に係る自己資金の取り崩しなどにより20億6,600万円の減となりました。	・病院建設工事に係る借入金の返済などにより4億3,400万円の減となりました。	・病院建設に伴う旧病院の建物及び医療機器の除却などにより16億3,200万円の減となりました。

令和2年度事業報告および決算について

学校法人福岡学園の事業報告および決算が、5月31日開催の理事会、評議員会で承認されました。その概要は次のとおりです。

令和2年度(第49期)事業報告

1. 「口腔医学の学問体系の確立・育成」について

戦略的連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」(文部科学省選定、助成期間平成20年～22年を含む10年間継続)で共同実施していた「歯医学連携演習」を本学で引き続き開講したほか、「災害口腔医学」のモデルカリキュラムについても本学独自の新たな授業科目「地域医療・災害口腔医学」として引き継ぎ、口腔医学教育カリキュラムを実践しました。

また、口腔医学の創設・育成を推進するため平成27年度に創設された「田中健蔵基金」による第5回目の事業として、短大実習で利用する超音波スケーラーを購入しました。

2. 教育の改善・充実等について

(1)平成25年度からの継続事業である「私立大学等改革総合支援事業」(文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が共同実施)において、歯科大学は、新たな時代を生きる学生に対する教育機能の強化を促進している大学として、タイプ1「[Society 5.0]の実現等に向けた特色ある教育の展開」に採択されたほか、個々の大学が地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取り組みが実践されている大学として、昨年度に引き続き「福岡未来創造プラットフォーム」に参画する歯科大学がタイプ3の「地域社会への貢献」に採択されました。

(2)歯科大学では、令和2年度から本格実施となった歯学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験について、第5学年73名が受験し、全員合格したほか、共用試験受験を踏まえた実践的な授業科目である「基礎臨床総合演習」において予習試験制度を導入し、学生の修学状況を評価することで早期の取り組みを促進しました。

(3)歯科大学大学院では、コースワークの内容を見直し、新たに「神経伝導・シナプス伝達解析法」の授業を開講したほか、大学院コースワーク標準履修モデルを作成するなど、更に、国際的に活躍できる臨床研究者の育成を図るため、臨床研究に特化した選択必修科目の設置について検討しました。

(4)看護大学では、看護系全科目のシラバスに対して、講師以上の教員で第三者評価を行い、その評価によりシラバスを修正し、口腔に関する看護実践力が向上するよう看護分野における教育内容のつながりを検討しました。また、看護系の各論実習終了後は、その教育成果を臨床にフィードバックする報告会を実施し、今後も臨床実習を継続してもらえよう取り組みました。

(5)看護大学大学院では、令和2年10月に文部科学省より設置認可を受け、入学試験を実施するなど、大学院開設の準備を進めました。また、博士課程の設置を目指して必要な研究業績を積み上げるよう、部門長を中心に看護研究を推進しています。

(6)短期大学では、歯科衛生学科において、介護職員初任者研修を次年度より介護福祉士実務者研修に切り換え、選択科目から選択必修科目に変更して実施する体制を整えました。専攻科では、23名全員が大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を取得しました。保健福祉学科においては、学科廃止に向けて各種必要な届出を行い、3月末に学科を廃止しました。

(7)「第114回歯科医師国家試験」は、形成試験を成績評価に反映させる実力試験に変更し、緊張感のある試験を行い、知識の定着促進を図ったほか、卒業試験・再試験問題のブラッシュアップ等様々な対策を講じ、新卒47名が合格しました。看護大学は初の国家試験となる「第110回看護師国家試験」に101名が合格し、「第107回保健師国家試験」は10人全員が合格しました。短期大学は「第30回歯科衛生士国家試験」に新卒72名全員が合格し、「第33回介護福祉士国家試験」は5名が合格しました。

3. 研究の活性化について

(1)「福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 口腔医学研究センター」は、第47回福岡歯科大学学会総会・学術大会のシンポジウムの一つとしてシンポジウム2020をWeb開催し、5つのプラットフォームから1年間の研究発表を公表するとともに、開設から令和2年末までの研究成果を業績集として取りまとめました。

(2)看護大学では、他大学の口腔ケアに関心が高い教員を含めた「大学間連携看護口腔研究グループ」を発足させ、関連研究等の情報共有を開始しました。

(3)研究業績として、専任教員の総論文数(著書、総説、原著論文、症例報告等)は、歯科大学は、前年度127編が162編(うち欧文74編)に、看護大学は、前年度72編が85編(うち欧文9編)、短期大学は、前年度13編が24編(うち欧文9編)になりました。

6. 組織運営及び財務強化・施設整備について

(1)病院の将来的な構想を踏まえ、画像診断学分野を内科と歯科の2分野に分け、全身画像診断学分野と口腔画像診断学分野としました。

(2)歯科大学は、大学基準協会の認証評価を受審し、「大学基準に適合している」との評価結果及び認定証を受領しました。

(3)私立大学が主体性を重んじ、公共性を高める自律的なガバナンスを確保するため、学園3大学のガバナンス・コードを策定し、ホームページで公表しました。

(4)外部資金導入として、文部科学省から改革総合支援事業選定に係る補助金として約3,000万円を受け入れました。

(5)学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念事業の一環として50周年記念講堂の起工式を執り行い、講堂建設を開始しました。